

令和5年2月9日(木)

13:30~14:00

三股町役場4階第2会議室

○出席者

町長部局:町長 木佐貫 辰生、副町長 石崎 敬三

事務局 企画商工課長 山田 正人、同課係長 大浦 明

教育委員会:教育長 米丸 麻貴生、三股町教育長職務代理者 大重 順一、

教育委員 屋敷 和久、長岡 江利子、兒玉 たえ子、

教育課長 福永 朋宏、同課長補佐 下西 志浩、同課副主幹 戸高 志織

○議 事

1 開会

2 町長あいさつ

3 協議事項

(1)三股町教育大綱の改訂について

別紙説明資料にて改訂(案)内容を事務局にて説明

(意見及び質問)

(米丸教育長)三股魂とみまたん子という表現については、町長・副町長との事前協議の中で協議をした結果、このままの表現にするという結論になりました。

(木佐貫町長)ありがとうございます。ただいまお話がありましたように、みまたん子については通常で使われていますし、三股魂についてもスポーツ関係で大いに使われています。三股は「ん」の付く町として宣言しておりまして、例えばみまたんパノラマまらそんなどイベント名でも使用していますし、前回の綱でも使用していますので引き続き使用してもよいのではないかとということでした。

(米丸教育長)三股魂についてですが、資料(三股の今日を築いた人々の教育の部、風雪百年 期待される町民性)にありますとおり、三股魂という表現が出てきておりましたので、そのまま使わせていただきました。それからみまたん子については、第5次総合計画の学校教育の充実のところでは表現されておりますので、こちらもそのまま使わせていただきました。

(大重職務代理者)こちらの表現について違和感がありましたので意見を出しましたが、今回の説明を受けて理解しましたので、そのままの表現で良いと思います。

(石崎副町長)三股の今日を築いた人々については昭和38年度頃の当時の谷口教育長が広報みまたの念頭のあいさつで盛んに強調しておりまして、当時の教育委員会の方針でございました。この中の協和と忍耐という言葉は平成11年に改定される前の三股町民憲章にも使われておりましたので、当時の教育委員会の基本方針であったと教育課からお聞きしていますので、こちらの文言を使わせていただきました。

(木佐貫町長)内容については十分吟味いただいたと思いますが、前回の教育大綱を踏まえて、一部字句訂正と追記したということでご理解いただきたいと思います。

(屋敷教育委員)個別最適な学びとは1人1台の端末を活用しとはあるのですが、どのような形で実行しようと考えていますでしょうか。

(米丸教育長)個別最適な学びということで捉え方は色々あると思いますが、例えば、生徒が自ら学ぶという方法については、教師主導で行う授業もありますし、グループでの学習を中心に進めていく方法もありますし、現在は1人1台の端末を使いながら、グループで進めていくというような、様々な学習の方法があるんですが、国の方としてはですね、これを選択していくというようなことで、個別最適な学びということも考えてはいるようです。

ただ今の段階で、どのような学び方が一番生徒にとってふさわしいか、またそれができる環境を整えることができるかというところもありますので、そういう授業の形式とかについては、深くは三股町としては、踏み込んでいません。

ただ、特別な支援を必要とする生徒がいたり、個の応じた指導をする中で、NINO等を使ったりして、それぞれの生徒のどの能力が優れているとか、どのあたりの支援が必要かなど、調査等しておりますので、そういうものを生かしながら、個々に応じた学習についても取り組んでいこうという考えで進めているということです。

(屋敷教育委員)わかりました。

(木佐貫町長)1人1台の端末で色々な情報も得られますので、個別学習またグループ学習、色々な形で取り組みをこれから充実させていきます。

(石崎副町長)時期的にそろそろCRTとか宮崎学力調査の結果が出てくる時期だと思われていますが、分かっていることがあればお聞かせください。

(米丸教育長)細かい分析までは出ておりませんが、CRTの結果は小学校・中学校ともに受験、宮崎学力調査については小学5年生・中学2年生が受験しておりまして、先週その結果が届いたところです。

三股町の場合は、県平均を下回っているということが大きな課題になってたんですが、今回の結果を見ますと、学校別でも全体の結果でも、特に小学校の算数についてはですね、平均を上回っているというような結果も出ているようですので、来年度の全国学力調査等でも、その成果が出れば良いなとは思っております。学校によっては大きく上回っているというようなところも実際に出てきているということで、それぞれの学校が学力向上に取り組んでいる成果が少しずつではありますが出てきていると思います。

中学校でもですね、2年生の県の調査の中では、社会科については平均を上回っているところが出てきておりますが、他の教科については、まだ平均を上回るころまでは行っておりませんが、社会科の中では記述式の問題に課題が多かったんですが、この問題でも、平均を上回るというような結果も出ておりますので、授業の進め方の中でも、意見を述べたりとか書いたりとかを積極的に行うということをお願いをしましたので、その成果が少しは出てるのではないかと思います。

来年度は国語、数学、英語ということでありますので、その成果はまだ目に見えるまでは出てきてないんですが、まだ数ヶ月ありますので、少しでも改善できればと思います。その一つの資料としてですね、学校でも使っていただければというふうに思います。

(木佐貫町長)ありがとうございました。来年度は期待したいなと思います。

前回11月の会議で、学力テストなどの結果を踏まえて、課題と今後の方針で、ご意

見を伺ったところです。今、教育現場では、放課後学習等で、子供達の学力向上に繋がる努力をされておりますので、結果として出てくれば、三股町の魅力になるのではないかと思います。

今回、説明のあった教育大綱についてご承認いただけますでしょうか。

(教育委員)はい。

(木佐貫町長)ありがとうございます。教育大綱についてはご承認いただいたということで進めさせていただきます。

(2)その他

特に意見無し

4 閉会